

## 法学部・法科大学院のオンライン試験の実施方法について

2020年12月7日

法学政治学研究科長・法学部長 大澤 裕

法曹養成専攻長 橋爪 隆

A セメスターの定期試験において、オンライン形式を採用する科目については、別表記載の方法に基づいて、オンライン試験を実施することにいたします。今月末までに詳細な「受験者心得」を公表する予定ですが、下記のとおり、試験の実施方法の概要をお知らせいたします。

### 【基本的な実施方法について】

オンライン試験については、答案作成の方法に応じて、手書き方式とPC利用方式を設けますが、以下の(1)～(6)の基本的な実施方法は共通です(これらの点については、Sセメスターから変更はありません)。

- (1) 試験問題のデータはパスワードを付した上で、事前にUTASにアップロードする。
- (2) 受験者はZoomのウェビナーに入室して、試験開始前に監督者の指示に従い、本人確認情報(顔写真など)を指定のGoogleフォームにアップロードする。試験開始時に試験問題のパスワードをZoom上で告知する。試験中の受験者への指示、問題訂正、質問への対応などはZoom上で行うため、受験者はZoomへの接続を維持する。
- (3) 受験者はインターネット上の情報や文献等を含め、試験時間中、資料を自由に参照することができるが、第三者に相談したり、助言・指導を求めることは禁止する。
- (4) 試験終了後、受験者は、所定の時間内に答案データを指定のGoogleフォームにアップロードする。
- (5) 試験時間は原則として120分とするが、これと異なる時間を設定する科目もある。事前に十分に確認しておくこと。
- (6) 通信環境等の問題で自宅等で受験することが困難な場合には、大学の教室でオンライン試験を受験することも認める。

### 【手書き方式】

- (1) 受験者は事前にUTASにアップロードされた答案用紙を自ら印刷して準備し、試験時間中に手書きで答案を作成する。試験時間を小問ごとのブロックに分割することはしない。
- (2) 試験時間終了後、解答済みの答案用紙(白紙答案も含める)を写真撮影またはスキャンして、所定の時間内にGoogleフォームにアップロードするとともに、所定の期限内に紙媒体の答案用紙を学部チームまたは大学院チーム宛てに提出する。

(3) 採点は、アップロードされた答案データを基準として行う。答案データが解読できない場合や一部の答案用紙をアップロードしなかった場合であっても、アップロードされた答案データに限って、採点の対象とする。

#### 【PC 利用方式】

- (1) 受験者は PC、タブレットなどを利用して、答案を作成する。担当教員によって解答する文字数の上限や書式などが指定される場合もある。
- (2) 試験科目によっては、試験時間を 2 つのブロックに分割して実施する場合がある。
- (3) 受験者は試験終了後、あらかじめ指示された形式・ファイル名で答案データを保存した上で、所定の時間内にデータを Google フォームにアップロードする。試験時間を分割した場合には、ブロックの終了時間ごとに答案データの保存及びアップロードを行う（データの保存及びアップロードのための時間は試験時間に含めない）。
- (4) 提出された答案データについては、専用のソフトウェアを用いて剽窃チェックを行う場合がある。
- (5) PC 利用方式の試験を受験する者は、PC やタブレットなどを事前に用意する必要がある。今後もオンライン授業・オンライン試験の機会が（少なくとも一定の範囲では）継続することが想定されることから、PC 等を所持しない者には、この機会に入手することを強く勧める。

PC 利用方式の試験を受験する予定があるが、経済的事情などから試験期間までに PC 等を準備することが困難な者については、機材の貸与等の措置を検討するので、12 月 21 日（月）までに、①氏名、②学籍番号、③受験予定の PC 利用方式のオンライン試験科目、④PC 等を準備することが困難な理由を明記した上で、以下のアドレスまで連絡すること。

学部生：gakubu.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

大学院生・研究生等：jin.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp